

学校づくりアンケート（教職員向け）に寄せられた声の紹介

2023年12月 尾北教職員労働組合

※学校づくりアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。寄せてもらった主な声を紹介します。各課題についてさまざまな角度から考え合いたいと思います。

1【コロナ禍以後の状況と対応】 ※意見や要望	
1	● マスクを外せない子が、まだ多い。（高学年）
2	● 高学年の女の子に、先生マスクとるのはずかしくないの？と聞かれたことがあります。これから先ずっとマスクを人前で外せないのでは・・・と心配になりました。
3	● 表情を読み取れない（読み取ろうとしない）子が増えた。
4	● コロナ禍以後、不登校や教室に入れない子どもが増えていると感じます。教室より保健室を希望する子どももいますが、保健室もけがや体調不良者の対応があるため、場合によっては全く構ってあげられないこともあります。また、保健室登校の子どもに対応していると、自分の業務は夕方以降にすることになり、負担を感じます。小学校にも中学校のような相談室の設置を進めてほしいです。
5	● 以前より気楽に欠席する、させるようになった感じがします。
6	● 今秋、コロナやインフルなどが流行し、行事前になると、校長から前向き給食や、グループ活動でのマスク着用の指示があった。校長に、マスク着用の強制はできない、子ども自身が予防方法の一つとして判断できるようにしたいと話をした。
7	● コロナをきっかけに、活動の精選ができてきているような気がしてよい。
8	● 小規模校なので柔軟な対応ができる。少人数学級、小規模校のよさがあらためて実感できる。
9	● 教員に協調性がない。
10	● 教科書に対する学習への意欲が少ない。
11	● 保護者の無関心。
12	● コロナ禍で電子鍵盤を買ったからという理由で使い続けています。電池の消費も多く、また呼吸を使った演奏の機会が奪われています。リコーダーのタンギングにもつながると思いますが、再開しません。
13	● 教育熱心な保護者とそうでない保護者の格差が大きい。教育力に問題のある保護者への対応に悩みます。

2【1人1台タブレット】 ※意見や要望	
1	● 使い方をしっかり検討しないと「子どもが主体的に学ぶ」という本来の学びを妨げるものになってしまう心配が大きい。
2	● 小学校でのタブレットの必要性を感じない。特に低学年。タブレットよりも、字の書き方や座り方など指導したい内容は山ほどある。
3	● 教師が使用をコントロールしない、休みの時間に外へも図書館へも持ち寄り、ゲーム（プロパミア）で楽しむ、で楽しんでいる。また、学級によって、タブレット使用のルールがゆるいところがある。
4	● 家庭に持ち帰った際に壊した時の対応や責任。
5	● 制限をせず、自由にやればよいと思う。
6	● 見切り発車が多い。具体的な指示がないまま学校や個人に任されるのは困る。ルールの策定など。
7	● 授業で使おうと思っていたものが、そのときにうまく繋がらず使えないことがあり困る。
8	● 校務データを家でも処理できるようになれば、学校で行わなくてもよい仕事が増える気がする。
9	● 次から次へと新しいことが入ってきて対応しきれない。対応できないことに対して相談できる環境にない。
10	● 生成AIの誤った使い方に関心を持たないか不安。
11	● 操作などに不安があり、使いこなす自信がないです。次から次へと増えるため。
12	● どこにあるのか、誰が管理しているのかなど全くわからないクラウドというものを信じていいのだろうか。個人データが漏洩することやクラウドを管理しているコンピュータが壊れる、電源が落ちるなどの問題は考えなくていいのか？すごく不安。
13	● ICT教育に反対。アンデシュ・ハンセンの「スマホ脳」を読んで下さい。Sジョブズは我が子にi-Padをさわらせていない。脳に悪影響を与えるということは様々な実験で分かっています。
14	● 活用方法を学ぶ場（研修）があると嬉しい。
15	● 児童のタブレットにデジタル教科書を入れてほしい。
16	● 下を向いてタブレットを見ている子どもたちを見て安心してしまうのが怖い。やはり、顔を上げて教師の顔を見ながら授業を受けさせたい。
17	● 児童の宿題をデジタルに変え、テストのデータなどと連動して一人一人の能力に応じた宿題を出せるようになる方法がないのか知りたいです。宿題を出すのも採点するのも、教員によって量や熱意に差があることが気になるのでその解消に繋がればと思います。
18	● 校務データの保存に時間がかかりすぎる時がある。デジタル教科書に、漢字のルビ機能やその印刷ができるとありがたいのと思っています。
19	● 有効活用すればすばらしいもの。私自身は積極的に学んでいないので、できていませんが。
20	● 先生や学校によって、活用頻度が異なるような気がする。
21	● 使い方を共有できるようなサービスがあるとよいかと。
22	● いろいろアプリケーションをかえることも大切だが、その使い方について分からない教員が多い。
23	● 規制があることでトラブルが減っているのは事実である。しかし、規制があることでやりたいことができないこともある。難しい。
24	● iPadの導入。chrome bookは不安定でトラブルが多い。

25	●	タブレットがなかなか使いこなせない。他の学校の使用(活用)方法がとても参考になった。もっと学びたい。
26	●	便利であろうものがたくさんありそうなのに、どう使うとよいのか効果的なのかがわからない。
27	●	研修の機会がない。
28	●	パソコン作業が全体に苦手な為、私自身も使い方を勉強しなければな、と思います。
29	●	教育DXは子ども本位になっていない。
30	●	ICT支援員の増員、時間数の確保をお願いしたい。

3【新たな研修制度】 ※意見や要望		
1	●	強制的なものはいらない。教師自らが受けた研修を受けられるような支援(代わりの先生、講座費用負担など)をすべきだ。
2	●	学校である程度計画案が示され、作成した。校長から手直しの助言を頂いたが、作成はやはり負担を感じた。
3	●	今後、給与への影響はあるのか?
4	●	負担軽減や働き方改革にはつながっていない。
5	●	あまり意義を感じない。
6	●	中堅研などの研修をもっと簡略化したり、提出物を削減したりできないでしょうか。研修も大切だとは思いますが、研修の存在が多忙化を促進していると思います。
7	●	学校での研修でよいのなら、一括して入力してもらえるといい。
8	●	本来、研修は何をどう学ぶのか自分で決めて行うもの。履歴は自分だけがわかればよいものです。
9	●	個人で計画を立てたが、何が研修に該当するのか説明がなく、分からないまま進めるしかなかった。
10	●	若い先生が多いが研修や現教など全体でのしぼりが多い。本来教師は、周りとのコミュニケーションと個々での自立によって育て、育てていくものと思います。
11	●	隣接校種免許を取る際は、通信制大学などを利用し、自費で単位を取らないといけない。二種免を一種免にするなど、上位の免許にする際は、県教委の研修で単位認定してもらえ。隣接校種免許の単位も、県教委の認定講習で単位認定してほしい。
12	●	具体的にどうやって進めていくのか、どんな影響があるのか不安。
13	●	毎年になってしまったので負担が増えている。
14	●	研修履歴の必要性が理解できない。
15	●	ただの報告のための記述。面倒に感じている。
16	●	紙面だけ、体裁を整えるだけの制度は廃止してほしい。実のあるものにしたい。
17	●	面談では研修について言及されなかった。
18	●	まだまだ模索状態かなあ～。
19	●	個人に丸投げでよく分からず、管理職に質問した。
20	●	免許取得の研修があるとよい。

4【時間外勤務の割り振り・勤務時間・休憩・年休など】 ※意見や要望		
1	●	修学旅行や自然教室の割り振りはできている。しかし、挨拶運動や取れなかった休憩などの割り振りはないし、どれだけ割り振りの時間があるのかもわからない。行事の時など早く帰っていいと言われありがたいが、仕事があると帰れない。この時間は割り振りなのか?割り振りであれば別の日にももらうこともできるのに。
2	●	学年により、割り振りを平日に取れる学年とそうでない学年がある。
3	●	8:30以前や、4:15~4:45についての割り振りはあるが、昼休憩の時間についてはない。
4	●	割り振り変更簿の使い方、休憩がとれなかったときに在校時間記録に反映させること、在校時間を正確に記録することとその意義について、毎年度初めに校長から全職員に説明されるべき。
5	●	休憩時間が名目だけとなっている。思いきって、8:30~16:00といった、一人一人が勤務時間をズラしてもよい形にならないか。実際は7:30から働いているのだから、1時間早く16:00に堂々と帰れると、子どもの育児に早く向かえて助かる。
6	●	勤務が8:15スタートになったことで、終了が16:45になった。早く帰れるようになった。これは、とてもありがたいと思った。残っている先生方の残業時間が減るように願っています。
7	●	年休をとる際に、理由を校長が聞いている。年休は無因休暇のため、理由を問わないはずである。
8	●	前残業、休憩時間のないこと。残業した時間に相当する給料を返してほしい。
9	●	インフルやコロナは療養休暇の対象にならないのでしょうか。
10	●	宿泊行事の時だけでなく、普段の活動(早朝に来てのライン引き、プール水質点検、土曜日の地域行事参加の引率)でも割り振りをつけてほしい。
11	●	もうちょっと割り振りがあってもいいのではと思う。
12	●	必ず周知され、全員が平等に使えるようにしてほしい。
13	●	「休憩時間」などとれる教員はいないのだから(管理職は別)、廃止してほしい。勤務時間を世の中にも明確に示してほしい。まだまだ教員はサービス業の24時間勤務、という風潮がある。
14	●	まあまあかなあ～。
15	●	市の音楽会の割り振りを入れてほしい。
16	●	非常勤なので、私は使っていない。 年休簿のように各自が記入し管理できたらよいと思う。

17	●	25年前は、土・日出勤。平日も深夜まで働いてきた。そして無理をしたため体を壊した。今になって真面目に頑張ってきたことを後悔している。25年間の人生はもうとりもどせない。
5【教職員の健康問題と多忙化解消】 ※意見や要望		
1	●	健康面や多忙化全てにおいて職員間のコミュニケーションが大切だと考えます。現職場は、その点において大変円満なため助かっています。
2	●	若い教員が厳しい保護者の発言に凹んでいるのを見ると、教育の未来に希望を見出せなくなるのではと心配です。
3	●	学級経営や保護者対応、子どものことで悩み苦しんでいる先生（多くの先生が休みがちに…）に対して、学校によっては学校全体でサポートして下さるところもありますが、学校によっては、学年任せにし、相談にのってくれないところもある。
4	●	教員の定数を増やしていただくことが1番なのではないでしょうか。
5	●	教員数の増加。養護教諭は複数配置を増やして行ってほしいです。（非常勤での複数配置でもいいので）
6	●	教員数を増やすこと。ICT支援員等の専門的な方の勤務の継続（タブレットの有効的な活用について、また資料作成等に必要）
7	●	学級の人数を減らすこと。やるべきことが減らせないのなら、担当の人数を減らせば仕事の総量は減らせます。それは子どものためでもある。
8	●	子ども達への支援、保護者対応、GIGAスクール構想などの新しい取り組み等、教職員一人当たりの負担が大きい。支援をしてくれる人や専門性のある人、もっと現場に人を増やしてほしいです。
9	●	賃金が上がればストレスは減るはず。
10	●	事務仕事の軽減や委託。部活動の廃止や委託。個人だけでなく管理職が積極的に進めていくべき。
11	●	在校時間をへらせというなら、具体的に何を削減すべきか共に考えてほしい。
12	●	管理職につく人が、心から信頼できる人であってほしい。
13	●	体育担当をしています。プールの水の賠償のリスクがあったり、全校が参加する運動会を仕切るなど、仕事やリスクが大きいのに、手当がないのが不満です。給与が他の教員と同じであるならば、仕事内容や賠償責任など、見直すことが必要ではないでしょうか。リスクは大きく、給与は変わらない。損な役ではありません。
14	●	行事の精選や事務仕事の簡略化。授業時間の削減。
15	●	学校訪問では、多忙化解消が進んでいるかという点でも、学校経営を評価してもらいたい。
16	●	学校教育における不寛容が広がっていると感じる。子どもたちや家庭の困難を思い量るやさしさに欠ける言動に触れると、がっかりする。
17	●	仕事を減らす。パワハラ、セクハラをなくす。学級の人数を減らす。
18	●	担任の多忙さ、空きコマを増やし、週20コマがよいが、そうはっていない。通学団がらみのトラブルが多く、その対応に追われがち。通学団の指導は切り離せないものか。
19	●	はやく帰るよう言われるが、はやく帰れば仕事がたまり、あせるばかりです。
20	●	これまで当たり前だと思ってやってきたことの中に時間的にムダなことがたくさんあることに気付きました。それなのに、またもにもどしていき動きには、おどろきあきれます。私たちの仕事量の多さは、自分たちが作っていることに時々バカバカしさを感じます。
21	●	前例踏襲、自己責任ではなく、批判を恐れない多忙化解消策の実施と人や給料を増やすこと、そして教員の魅力を高め、教員志望者を増やすこと。
22	●	ストレスをためないこと。子ども達の生徒指導と教科指導の両立。保護者対応がうまくいくこと。
23	●	そのための具体策は、担任の先生が1人で問題を抱え込まないようにすること、学校や地域によって、優先すべきことが違うと思うので何とも言えません。
24	●	管理職の理解。
25	●	教員の仕事を精選をすることや、教員でなくても行うことが可能な仕事を任せられるような立場の方の採用。
26	●	教員数の増加。
27	●	やめれるものはやめてほしい。
28	●	教員の増加と勤務負担の平均化。今、自分は負担が少ない立場にあるため全体の退社が早くなるようにもっと仕事を割り振って欲しいと思うことが多い。しかし、そのようなことを伝えると職場の先生方が優しすぎるため「早く帰って休んで良いんだよ」と言われるため機械的に業務が割り振られて欲しい。
29	●	校長が勤務の割り振りに気をつけてくれるのでありがたい。立場上、すぐ帰れてしまい実際にそうしている。他の人が帰りやすい雰囲気を作りたいと思っている。
30	●	①授業数をへらす。②学級の児童数（定員）をへらす。③少人数担当、TT担当のための教員をふやす。④支援員をふやす。
31	●	職場の人間関係に（管理職との）が悪いと、どうすることもできない。教頭・校長には、人望のある信頼できる方になってほしい。
32	●	人員の増加。
33	●	教員をふやすこと。
34	●	授業以外のことをもっと思い切ってカットする。
35	●	研修や現教の大幅な見直し。
36	●	教員増加。
37	●	2学級に3人の体制が組める程度に職員数を増やす。
38	●	行事の精選（特に高学年に重い行事がかさなっている）

39	●	仕事量が減らないのなら人を増やすしかないのではないか。
40	●	人員増加、分掌の分担。
41	●	教員及びボランティアの増員。
42	●	校務主任兼担任を、簡単に実現させないで頂きたい。2年連続で校務主任兼担任をしています。
43	●	授業数を減らすことです。
44	●	教員数の増加。1クラスあたりの児童数を減らす。
45	●	道徳や総合などの所見の簡略化。
46	●	賃金を上げる。人員の大幅な確保。
47	●	1クラスの児童数が多すぎる。多すぎる行事を減らしてほしい。給食を5分で食べて、児童のノートや連絡帳、カード、テスト類に目を通さねばならなくなっている。

6【その他】 ※意見や要望

1	●	ラーケーションによる学習補充は行わないといっても、結局やらないと次の時間に困る。その日の課題や連絡を事前に知らせるなども手間。必要ないと思う。
2	●	ラーケーションでは休暇中の授業内容は保障しなくてよいとのことであったが、学びは連続しているのでやらざるを得ない。
3	●	個別対応が必要な児童の増加や不登校、保健室登校を希望する子供たちが増えているため、教員不足を感じている。一人一人にきめ細やかに対応するためにも教員の数を増やしてほしい。
4	●	小学校高学年での教科担任制を進める上で、英語や音楽など専科の教員が必要。
5	●	小学校高学年の教科担任制で専門外の教科を学年の全クラスに教えるのは、子どもにとってあまりメリットがない。算数は得意なわけではないが、担任が担当し、クラスの子達の様子を把握したい。
6	●	発達障害で悩む親子が増えても、対応するスタッフや受診施設が少なく、発達検査1つとっても、予約をとれても4ヶ月後…といった状況ばかり。発達検査を行える巡回指導教員などの専門家を市町で確保して、直接学校で検査したり、親との面談をしてもらえるとかかなり違うのではないかと。
7	●	犬山市のセクハラ案件についてです。市長の名前で手紙が配られてから、児童と教員の距離が離れがちになります。保護者からも、あの手紙でいいのかと、親はセクハラ教員は困るが全員が身体接触を無くして児童と距離を取ることが本当に必要かと言われました。上に立つ人はもっと現場の声を大切にしてください。
8	●	管理職にパワハラに関する研修をもっと行うべきである。当たり前のようにやっていることもある。
9	●	仕事の割に賃金が安すぎるのではないかと。ベースアップを（特に講師）
10	●	どんなことでもそうですが、これが学校で対応することなのだろうかと思うところがいっぱいあるので、そこを精査する必要があるかなと思います。
11	●	学校によって割り振りがあるないがあってはいけない。夏休み開始日も市町で異なるのは疑問、不満。もっと公平な働き方ができるように要望します。
12	●	犬山わいせつ問題での対応は、真面目に働く市内全教員を対象として保護者にわいせつアンケートをさせたり、自己評価シートをさせたりと、対応がおかしい。人事に関しては市教委に責任があり、アンケートされるべきは市教委の対応であるはず。世間一般に謝罪や対応の姿勢を示すのではなく、市内教員に謝罪すべきではないか。
13	●	ラーケーション制度は必要だったのか。本当に必要なことに時間とお金をかけて欲しい。
14	●	本当はやらなくてもよいことをいろいろとやっている自分たち。他に要望するよりも、自分達で仕事を精選すればよいのに。×教員集団は、実は、頭がきれいな人が多いからだと思う。
15	●	教員不足について、講師を見つけることは校長の仕事。足りない所は教育委員会がバックアップする。出来ていない所が多すぎる。
16	●	高学年の教科担任制を実現したい。
17	●	個別の支援が必要な児童が増えている。支援員の増員が必要である。
18	●	性暴力の起こる背景、人を大切にできる人間関係作り、からだの権利や同意など教師も子どもも学べるように、人権教育を進めてほしい。
19	●	算数を一人でやるのはとてもキツイです。T2の先生を入れていただきたいです。
20	●	ラーケーションについて連絡の受付や、受付票の記入、給食欠食の手続きなど、教職員の負担が増えている。知事は、学校の負担を増やさないと云った約束を守るべき。病欠欠席などと異なり、事前にラーケーションをとる児童がいるとわかっているのに、テストや学級組織決めをするのは思いはばかられ、支障となっている。
21	●	自衛隊の航空機の騒音。授業に支障が生じる。
22	●	評価方法についての助言が、私には、圧力に感じた。
23	●	30年間、時間外勤務で働きつづけてきた。今頃、多忙化解消と言われるなら、その分を給料で返してほしい！！働かせるだけ働かせておいて、給料を上げないことがそもそもひどい！